

令和6年度（2024年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

| | | | | | | | |
|------|--------------------|-----|------------|----|------|----|---|
| 教科 | 理科 | 科目 | 生物基礎 | 学年 | 第2学年 | 類型 | I |
| 単位数 | 2単位 | 教科書 | 生物基礎（東京書籍） | | | | |
| 補助教材 | コンセプトノート生物基礎（浜島書店） | | | | | | |

| | |
|------|--|
| 学習目標 | 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。また、観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うとともに、生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 |
|------|--|

| 学期 | 月 | 単元 | 学習内容・単元の目標 | 定期 考査 |
|---------|-----|-----------------------------|--|----------------------|
| 1 学期 | 4月 | 1編 生物の特徴 | 地球上にすむ生物の種類が膨大であることに気づき、地球上に多様な種がみられるのはなぜか考える。多様な生物は進化の結果生じたものであることを理解する。 生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 呼吸や光合成のしくみを理解する。 遺伝情報を担うのが遺伝子であり、遺伝子の本体はDNAであることを理解する。 | 中間考査 |
| | 5月 | 1章 生物の多様性と共通性 | | |
| | 6月 | 2章 生物とエネルギー | | |
| | 7月 | 2編 遺伝子とのはたらき 1章 遺伝情報とDNA | | 期末考査 |
| 2 学期 | 8月 | | DNAの構造や細胞分裂のしくみについて理解する。 | 中間考査 期末考査 |
| | 9月 | 2章 遺伝情報とタンパク質 | アミノ酸の種類と並び方によって、多様なタンパク質が生じることを理解する。 | |
| | 10月 | 3編 ヒトの体の調節 | 体内環境と体液の関係について理解する。 | |
| | 11月 | 1章 体内環境と情報伝達 | 体内環境の維持と自律神経による調節を関連付けて理解する。 内分泌腺と分泌されるホルモン、その作用について知り、ホルモンが受容されるしくみを理解する。 | |
| | 12月 | 2章 免疫のはたらき | 免疫のしくみについて俯瞰的に整理して理解する。 | |
| 3 学期 | 1月 | 4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移 | 植生の遷移について、モデル的な過程とその要因を理解する。 遷移の信仰と光合成の関係について理解する。 生物の多様性について、3つの視点から理解を深める。 生態系とその保全について整理する。 生物基礎が日常のさまざまな場面でかかわっていることを体感する。 | 学年末考査 |
| | 2月 | 2章 生態系と生物の多様性 | | |
| | 3月 | 終章 生物基礎と私たち | | |
| | | | | |

| | |
|-------|--|
| 学習の方法 | 日々の授業において基本的な概念や法則を理解していくことが大切です。図を利用しながら生物や生物現象を理解し、基本的な知識については何度も復習しながら身に付けることが必要です。生物に興味を持ち、日常生活や環境との関連を考えながら学習に取り組んでみましょう。 |
|-------|--|

| 評価の観点 | ① 知識・技能 | ② 思考・判断・表現 | ③ 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------|---|--|--|
| | | 自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。 | 自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 |
| 評価方法 | 評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物（課題、ノート、学習プリント等）・小テスト・実験レポート・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。 | | |